



西荻窪町会 防災会だより



16号

平成25年12月23日 / 西荻窪町会防災会発行

火の元、戸締りにご注意を！ 良い年末年始をお迎えください

火災の原因に、放火が多発！ 家と家族を守りましょう

火災件数の4割は12月から3月に集中しています。その原因でいちばん多いのは、なんと「放火」。よく狙われるのは「ゴミ置場」だそうで、火をつけられないように、ゴミは夜ではなく当日の朝に出すことが大事です。冬でも出しっぱなしになっている「すだれ」も狙われやすいので、畳んで目に付かないところに置いてください。「自転車のサドル」も、放火の対象になるそうです。防災加工がしてあるカバーを付けることもご検討ください。(NHK あさいちより)

【火災の原因】(平成24年 消防庁調べ)
放火、放火の疑い・・・19.4%

タバコ・・・9.5%

こんろ・・・9%

たき火・・・5.5%

ストーブ・・・3.5%

その他の原因・・・41%

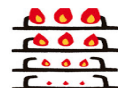
不明、調査中・・・12.1%



ストーブやコンロに、ご注意ください

冬場は、石油ストーブ・電気ストーブ・ガスコンロでの事故が発生しやすくなります。特に高齢者になるほど発生数が増え、死亡や大ケガなど被害の程度も重くなる傾向があるそうです(読売新聞)。

- 石油ストーブのタンクのふたの締め方が不十分で、漏れた灯油に引火
- ガスコンロの使用中に、衣類に火が燃え移る
- 周囲の可燃物がストーブに触れて火が燃え移る
- グリル内に溜まった油が発火



何気ない使い方が事故につながる可能性があります。今一度注意事項を確認しましょう

外国人・視聴覚障害者のための【SOSハンドブック】を購入しました。

もしもの時の意思伝達を助けるものとして、西荻窪町会役員は各自で常備。町内の防災倉庫への配備も行います。



減災生活⑤ ふだんの生活で防災グッズを持ち歩く！

災害はいつ、どこで襲ってくるかわかりません。そのため、防災グッズは肌身離さず持ち歩くことが理想です。携帯できそうな防災用品の中から、自分にとって優先順位が高いものを選んで、ふだんから持ち歩くことをお勧めします。これが「0次の備え」です。

人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災の経験から、被災直後の混乱時をしのぐための最低限の品をバッグにまとめ、各家庭の運び出しやすいところに置いておく非常持ち出し品を「1次の備え」。被災後の数日間、どこからも支援がなかったとしてもなんとか生き延びられるだけの衣食住にかかわる品を適量各家庭に置いておく備蓄品を「2次の備え」。さらに「0次の備え」が必要であることを啓発しています。「減災グッズを備えよう！チェックリスト」を参照ください。 <http://www.dri.ne.jp/download/index.html> (株) ワールドフォトプレスmono特別編集「防災グッズ」より

